



広報委員長あいさつ



広報委員長 伊橋佳辰

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい新春を希望に満ちて健やかに迎える事と拝察申し上げます。今年も町民の皆様にとりまして、平和で幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、天皇家の長女紀宮さまが黒田慶樹さんと結婚された事に対し、全国民が慶賀の儀を心からお祝いし、ご多幸を願ってお喜びになられた事と思います。

しかし、国内外で大きな自然災害やJR西日本の列車脱線事故など、悲惨な人災の発生、相ついだ児童虐待や子供を狙った凶悪事件が発生しました。更には、アスベスト健康被害問題、お年寄りを狙ったりリフォーム詐欺も各地で顕在化など、国民生活の安心、安全が問われ揺れ続けた年でもありました。

さて、昨年暮れには与党は本年度の税制改正大綱を決めました。所得税、個人住民税の定率減税の半減や全廃が盛り込まれ、本格増税時代へと踏み出しました。

本年1月の所得税の定率減税半減を皮切りに、酒税の見直し、たばこ税の値上げ等により家計の負担増が、消費を冷え込ませかねないとの懸念も根強く、国、地方とも危機的な財政状況に喘いでおり極めて厳しい運営が余儀なくされております。

今、平成の大合併が進められ当町も3月27日に、新町「横

芝光町」としてスタートいたします。この合併により基礎自治体として、今まで以上に行政能力の向上が期待でき、更に地域自らの意思を行政に反映させる住民自治の構築も期待できます。

齊藤町長は、今までふるさと光町の総仕上げと新町のスムーズな立ち上げのため、渾身の努力をいたしました。町民要望の強かった青少年の健全育成と観光資源としてのサッカー場の完成、文化行政の推進、道路網の整備及び、待ちに待った銚子連絡道路の3月開通予定等着実に成果をあげてまいりました。

「広報ひかり」の発行も、残り2回となりました。今まで以上に齊藤町政最後の総仕上げと、各種情報提供に努力し町民の皆さんと共有をはかるとともに、光町の最後にふさわしい広報紙に努めてまいりますので、よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

